

令和7年度 第1回 南地区学校運営協議会の記録

日時 令和7年5月22日(木)
18:30開始、19:40終了
場所 稚内南小学校2階図書スペース

- 1 令和7年度の協議会を始めるにあたって(進行:学校運営協議会事務局)
 - (1) 稚内市教育委員会事務局からの説明(南地区コーディネーターネットについて)
 - (2) オブザーバー参加者の紹介
 - (3) 南地区学校運営協議会運営要領案についての確認
 - (4) 会長・副会長について ⇒会長並びに副会長を選出

2 議事(進行:会長)

- (1) 「標準学力検査並びに全国学力調査の結果(紙面用意、当日配付)」並びに「年度当初の学校運営状況(学校要覧、当日配付)」に関する報告
- (2) 学校運営協議会の年度当初の取組に関する報告
 - ① 不登校児童生徒に係る育英館大学との連携事業について
 - ② 「子ども食堂の後の児童生徒の学習の場」づくりについて
 - ③ 学習支援ボランティアの応募状況について ⇒ 現在、3名の応募あり
- (3) 質疑応答 ⇒ なし
- (4) 各校の不登校児童生徒が興味関心を持っていることに関する報告
- (5) 不登校児童生徒に地域社会が働きかけることができるについてのグループ協議
⇒ 「グループ協議の記録」のとおり
- (6) 協議内容の交流
- (7) 第2回会議までの事務について
 - ① 学習支援ボランティア事業
4月 ボランティアの公募
5月中旬 ボランティア体験会(または見学会)
～12月中旬 ボランティアの活動
 - ② 夏季休業中の小学生の宿題支援ボランティア事業
ア 期間・学年を限定し、希望する南地区小学生が、地域の中学生から宿題のわからないところを教えてもらう(会場=南小図書スペース) =南子連との連携事業
イ 事業を見守るボランティアを地域から募る
ウ 宿題を終えた児童には、読書に親しんでもらえる環境を図書スペース内につくる(図書館協力員との連携)
 - ③ 「みどりスポーツパークの活用」に関する提案については、まずは事務局内で協議し、実現が可能な事項については関係機関との協議を進める

3 その他

- 「アウトメディア」や「早寝・早起き」等に係る「生活習慣づくり」に関する取組は、「学校」や「PTA」が主体となり各校で計画的に実施する ⇒ 第2回会議で各校から報告
- 4 第2回南地区学校運営協議会開催予定日…10月2日(木)18:30開始(稚内南小学校)
- 2週間前に開催案内を配付
 - 事前の事務局会議は9月5日(木)10:00より南小で開催

令和7年度 第1回 南地区学校運営協議会 グループ協議の記録

令和7年5月22日開催 事務局

A グループ

- 子どもから「本音の話」を聞けるとよい
- 不登校の理由が本人も含めわかりづらくなっている
- 道教委が進めるメタバースの取組はいいかも
- 異なった環境は影響を与えることがある

みどりスポーツパークの活用に関する提案

- ☆ 積極的な関わりをしていきたいという思い
- ☆ 地域の方からも色々な提案が出ていた(学習支援など)
- ☆ 子どもが放課後の時間に 専門職員がいないのが課題

- ランドセル登録の子どもが利用できるようになるとよいかも
- 財源をどうにかつくれないか(課題)

B グループ

【フリースクール(オンライン)】

- 顔を合わせることがない
- 顔を見せないこともある(自分で)

【学校以外の場づくり】

- 学校という環境が苦手
- 学校を強制することは NG
- 大学(学生の支援)…本人の足が向くかがカギ
- スポーツパーク
 - ・ 集まる場として、スポーツ以外での活用
 - ・ 週1で企画をする ⇒ 目的を絞る

C グループ

- 原因がわからない不登校
 - ・ 興味関心をくみ取る…スポーツ・同級生との関係
 - ・ 居場所づくり(スポーツパーク)
 - ・ 家庭と多様なチャンネルで つながる(SSW)
 - ・ 「子ども食堂+学習」はきっかけになる 同様の取組を企業や事業所、育成部で実施
 - ・ 本人と会いなくとも、つながりのある子どもから不登校児童生徒の様子を聞くことはできる
 - ・ 行事にだけ参加する場合…勉強がからむと難しい
 - ・ 子どもたち同士の関わりは継続性が必要